

7月に行われたイベントなどについて お知らせします

フォトダイアリー Photo Diary

SL C11型123号機 運行開始

7月18日(月・祝)、東武鉄道で平成31年1月から復元作業を進めていた蒸気機関車「C11型123号機」が完成し、運行を開始しました。

123号機を一目見ようと集まった鉄道ファンたちは、白煙をまとい力強く下今市駅を出発する姿を、カメラを手に見届けました。



東武鉄道で3機目となる新機関車



10周年にふさわしい豪華なステージ



久しぶりの演奏会となった団員たち

女声合唱団日光カンマーコール演奏会

7月2日(土)、女声合唱団日光カンマーコールの創団10周年記念演奏会が今市文化会館で行われました。日光カンマーコールは日光を歌の力で盛り上げようと平成24年に創団し、これまで市内での演奏会やイベント出演はもとより、海外友好都市の台南市への演奏旅行を行うなど、精力的に活動を行ってきました。

コロナ禍を乗り越え実現した今回の演奏会では、団員28名と講師陣に加え、上三川少年少女合唱団やプロの音楽家の方々などをゲストに迎え、洋楽から日本の童謡まで多彩な歌声を会場に響かせました。団員の小林悦子さん(大沢町)は「歌えることに感謝し、また頑張っていきます」と話してくれました。

今市の七夕かざりウィーク2022

6月25日(土)〜7月7日(木)、今市の七夕かざりウィーク2022が行われました。参加者は色とりどりの七夕かざりや笹かざりで彩られた、下今市駅や如来寺、報徳二宮神社、日光街道ニコニコ本陣などの今市のまちなかを、スタンブラーを楽しみながら巡りました。

今市の七夕かざりは、戦後から昭和後期に各商店が工夫を凝らして装飾を競ったもので、昭和の時代の華やかなまちなかを再現しようと、昨年から復活プロジェクトが立ち上げられました。実行委員会の加藤さんは「笹の準備から装飾まで、まちの皆さんの協力でできたイベントです。来年も開催して、今市の夏の風物詩にしていきたいです」と話しました。



二宮神社の鳥居にたなびく玉飾り



たくさんの願いが込められた短冊

下司愉宇起氏からの ピアノ寄贈

7月11日(月)、日光カンマーコールの指揮者も務める音楽家、下司愉宇起さんが、日光観光大使就任10周年を記念し、大沢公民館にピアノを寄贈しました。下司さんは「日光市への10年間の恩返しとともに、地域に根ざした文化の発展に役立ててほしい」と話しました。



寄贈式ではピアニスト中山理紗さんによる演奏も披露されました



「日光物語」お披露目

7月23日(土)、ニコニコ本陣で日光を舞台にした映画「日光物語」のお披露目上映会が開かれ、監督と出演者などが舞台あいさつしました。

主人公のカフェ店主が家族や住民を巻き込んで繰り広げるコメディ作品で、日光の名所が数多く登場。

映画は今秋に全国公開した後、学校などで上映される予定です。



主人公役のスネオヘアさん(中央右)とヒロイン役のAKB48武藤十夢さん(中央左)



迫力ある龍王太鼓の奉納



威勢よく練り歩く本神輿

7月1日(金)〜31日(日)、第54回龍王祭が開催され、期間中、龍王祭御渡として、鬼怒川・川治温泉観光情報センターおよび宿泊施設で、実際の神輿が展示されました。

7月22日(金)には、龍王峡鳥居前で神事が執り行われ、結成50年を迎えた龍王太鼓保存会が龍王太鼓を奉納しました。

7月22日(金)・23日(土)の本祭では、特設ステージで郷土芸能や歌謡ショーが披露されるのにあわせて、くろがね橋周辺で、鬼祭會による万燈神輿や華やかな女樽神輿などが繰り出され、会場は盛り上がりました。最後には、花火「龍神昇天」が打ち上げられ、3年ぶりに開催された龍王祭が締めくくられました。



龍王祭

まちの ほっと NEWS

全国消防救助技術大会へ出場

6/22

栃木県消防学校で開催された、栃木県消防救助技術大会「ロープブリッジ渡過」の部で今市消防署の川島翔太消防士が優勝し、8月26日(金)に東京都立川市



賞状を手にする川島消防士

提供：消防本部

で行われる全国消防救助技術大会への出場権を手に入れました。

市の消防士が全国大会へ出場するのは、16年ぶりとなります。

優良建設業者表彰

7/13

令和3年度に市が発注した建設工事を優秀な成績で完成させた建設業者9社を表彰しました。

この表彰式は、市内建設業者の技術の向上と建設工



表彰を受けた建設業者の皆さん

提供：契約検査課

事の適切な施工を確保するため、毎年実施しており、受賞者は「本日の栄誉を契機としていっそう精励する覚悟です」とあいさつしました。